

災害時の防災対応について

中日本高速道路株式会社

2025年 9月 25日



- 会社概要
- 当社の災害対応
- 気象情報の取り扱い
- 関係機関との連携
- 気象台への期待・ニーズ

会社概要

事業エリア



営業延長	約2,208km
建設延長	約 65km
サービスエリア数	205か所
2025年9月現在	

凡例 — 営業中 ⋯ 建設中

※東京外かく環状道路 大泉JCT~中央JCT間は、国土交通省及び東日本高速道路株式会社から委託を受けて事業を実施

NEXCO 中日本は、経営理念に基づき4つの事業を展開

高速道路事業

建設事業

高速道路を創る



保全・サービス事業

高速道路の安全を守る



関連事業

サービスエリア事業

高速道路で癒しをお届けする



新規事業

新たな事業領域に挑戦する



当社の災害対応

当社が対応する主な自然災害：地震・津波・異常降雨・強風・火山・高潮・豪雪

地震(津波)



2024年1月_能登半島地震
(北陸道被災)



2009年8月_駿河湾を震源とする地震
(東名被災)

異常降雨



2022年8月_異常降雨による区域外
からの土砂流入(北陸道被災)

台風(強風・高潮)



2018年9月_台風21号強風
(名神車両横転)



2007年9月_台風9号に伴う高波
(西湘バイパス被災)

豪雪



2021年1月_大雪
(北陸道大規模車両滞留)



2024年1月_大雪
(名神大規模車両滞留)

自然災害に対し、当社では様々な対策を実施しています。

自然災害

地震(津波)

台風(強風・高潮)

異常降雨

豪雪

火山噴火

⋮

対策実施例

構造物の保全・補強などの対策実施

橋梁の耐震補強、越波防止柵の設置、のり面の補強、融雪装置の設置 など

資機材等防災備蓄品の配備

地震や異常降雨・豪雪等の災害への備えとして、土のうなどの防災備蓄品を配備

事前通行規制

過去の災害の発生状況などから概ね道路の通行が危険であると認められる場合、あるいは予想される場合に道路通行規制を実施〔雨・風・地震・霧(視距) など〕

体制の構築

情報収集や災害発生時の迅速な対応、関係機関との連携など、災害応急対策等を総合的に行うための体制を構築

広報・情報提供

出控えや注意喚起のほか、災害に関する情報などをお客さまに提供

当社の災害対応

異常降雨を対象とした行動例

1週間前	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報の収集〔以降継続〕 ・関係機関との情報共有〔以降継続〕 	
3日前	<ul style="list-style-type: none"> ・広報(注意喚起)〔以降継続〕 ・社内体制構築の準備〔以降継続〕 	
1日前	<ul style="list-style-type: none"> ・広報(通行止め区間・開始見込み時間帯) ・社内体制の区分、構築開始時間の決定 	<p>※必要に応じ関係機関連名での広報や緊急会見を実施</p>
当日	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携体制構築(Web会議を活用した連携 など) ・社内体制の構築〔以降継続〕 ・通行止め準備(要員配置 など) 	
事前 通行止め	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量が通行止め基準値を超過 ・通行止め要員による物理閉鎖実施 ・広報(通行止め区間・開始日時) 	
災害発生	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生箇所の確認 ・復旧作業の手配 ・広報(災害発生) 	

気象情報の取り扱い

当社では「気象情報提供業務」を発注し、民間気象事業者から提供される気象予測や実況をもとに、**体制構築判断、通行止めに向けた準備、資機材や作業員の手配、広報・情報提供**などに活用

●気象予測【降雨・降雪】

内容：週間予測、短期予測（1時間毎72時間）など

項目：時間雨量、連続雨量、風向、平均風速、気温、時間降雪量 など

※IC間単位などで上記項目の予測を実施

●越波予測【東名由比地区、西湘バイパス】

内容：短期予測（1時間毎30時間先）

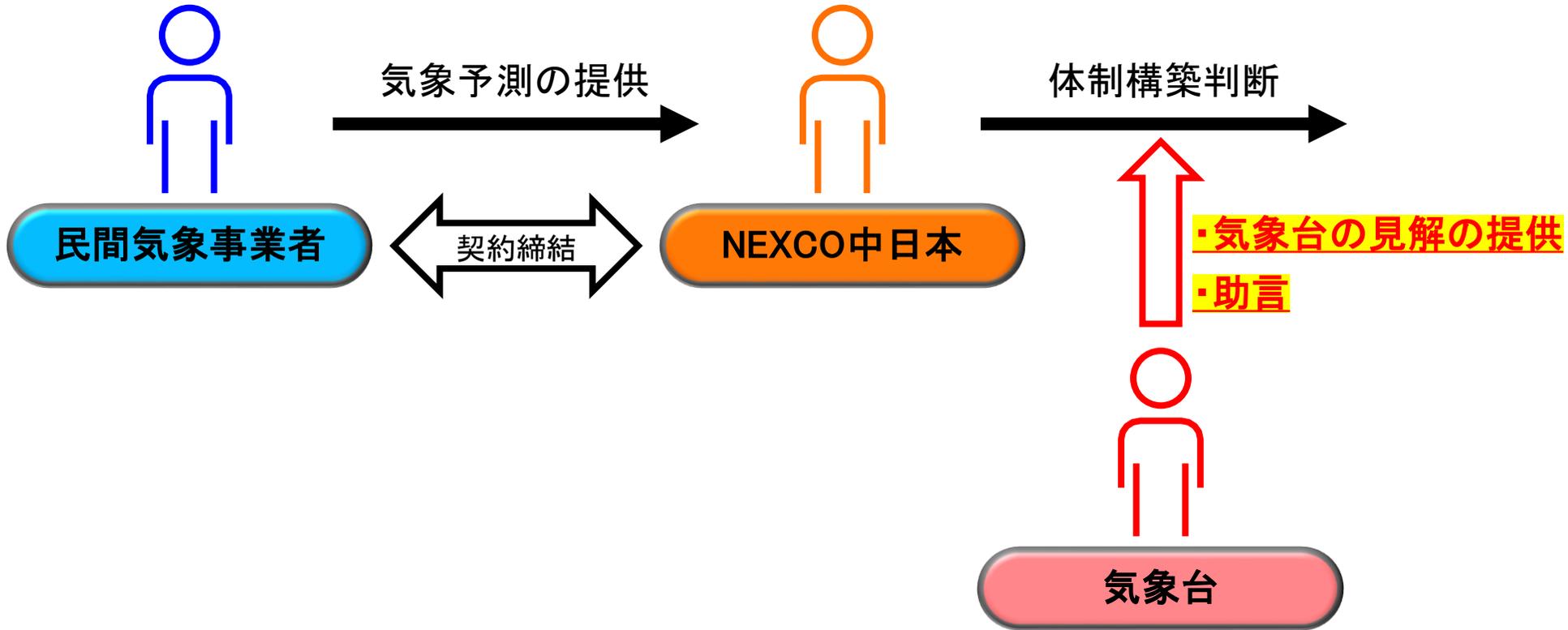
項目：波高、周期

左記の予測情報について

- ・台風や異常気象時のWeb会議による解説
- ・必要に応じ、気象急変等のコンサルティング
- ・通行規制基準に照らし合わせた気象予測の提供を受けることにより、通行規制の可能性のある時間帯などを把握

「民間気象事業者のサービス」と「気象台の解説」の使い分けについて

基本的には、民間気象事業者から提供される気象予測をもとに防災対応を行うが、大雨や大雪が予測される場合は、気象台にも見解を確認し、体制構築における1つの判断材料としている(セカンドオピニオンのような使い方)。



高速道路における危機管理上のマネジメントには、確度の高い気象予測が必要不可欠であるため、気象台にもご協力をいただいている。

関係機関との連携

大雨や大雪時は、道路管理者や交通管理者などの関係機関が情報収集・情報交換し合う会議体(情報連絡本部など)が立ち上がり、その中で連携を図っている。

【情報連絡本部などでの連携内容】

○防災体制構築の共有

- ・体制規模・体制構築時間の共有

○民間気象事業者から提供された気象予測の共有及び気象状況の共有

- ・大雨や大雪が予測される時間を共有すると共に、気象急変などの実況についても共有
- ・災害が発生すれば、その状況についても共有

○通行止め開始・解除時間の調整・共有

- ・冬期は、高速道路と並行する国道を同時に通行止めするため、その調整を実施

関係機関との連携

大雨や大雪が予測される際は、状況に応じて、地方整備局・運輸局・地方気象台・高速道路会社にて連名広報や合同記者会見を実施。

連名広報	合同記者会見
<div data-bbox="279 442 787 1156"> <p style="text-align: right;">お知らせ (第2報) 令和7年9月5日 11時15分</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <p style="text-align: center;">台風第15号の大雨による道路通行止めの可能性 ～最新の台風・道路情報の確認及び外出時間の変更等のお願い～</p> <p>東海地方では、台風第15号の影響で大雨となっているところがあります。引き続き6日夕方にかけて、猛烈降水等が発生して大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性があります。このため、愛知県内の新義名及び伊勢湾岸道、東海環状道、岐阜県内の国道41号の一部区間が通行止めとなっています。今後、岐阜県、愛知県及び静岡県内において、新東名等及び国管理の国道の一部区間が通行止めとなる可能性があります。</p> <p>○道路通行止めの基準雨量を設定している事前通行規制区間においては、大雨の状況により通行が危険と想定される場合は、安全のため災害が発生する前に通行止めを行います。</p> <p>○通行止め可能性区間(別添)は、今後の気象状況等により変更となる場合があります。外出の際は、最新の台風及び道路情報をご確認のうえ、外出時間の変更にご協力をお願いします。</p> <p>○別添に示す区間以外においても、大雨により土砂災害や暴風被害等の災害が発生する等、道路の通行が危険となった場合は通行止めを行う場合もありますのでご留意ください。</p> <p>○また、公共交通機関では、遅延や運送が発生する恐れがありますので、最新の運行情報をご確認下さい。貨物の集配に遅延が生じる可能性もありますのでご留意下さい。</p> <p><配布先> 中部地方気象記者クラブ、中部専門記者会、東海交通研究会、岐阜県記者クラブ、静岡県記者クラブ、三重県記者クラブ、東三県記者クラブ、富山県記者クラブ、滋賀県記者クラブ、大甲前クラブ</p> <p><問い合わせ先> 【道路が管理する道路】 中部地方整備局 道路部 道路情報センター TEL 052-953-8293</p> <p>【高速道路会社が管理する道路】 ・NEXCO日本道路サービスセンター(24時間対応) TEL 0120-827-229 (フリーダイヤル) ※上記電話番号をご利用にならない場合は TEL 052-223-0333 (通話料無料)</p> <p>・日本道路交通情報センター(道路交通情報のみに関するお問い合わせ) 【東京・神奈川(横浜)地区】 TEL 050-3369-4766 (有料) 【東京(中央)・関東(横浜)地区】 TEL 050-3369-4766 (有料) 【長野(中央)・北陸(北陸)地区】 TEL 050-3369-4766 (有料) 【愛知県(東海)・岐阜(東海)地区】 TEL 050-3369-4766 (有料) 【滋賀(東海)地区】 TEL 050-3369-4766 (有料)</p> <p>【公共交通、事業用自動車に関すること】 中部運輸局 総務課 安全防災・危機管理課 八木 美穂 (eg.090) TEL 052-952-9049</p> <p>【気象情報に関すること】 気象庁 名古屋地方気象台 気象防災情報課 資料 室 TEL 052-751-5124</p> </div>	<div data-bbox="953 499 1864 1099"> </div>

出控えの訴求力向上を目的に、関係機関で協力し、広報を実施している。少しでも早く広報を実施するためにも、気象台の皆さまとも密に連携していく必要がある。

気象台への期待・ニーズ

平時

○各地域の気象特性や気象情報を学ぶ場や機会の提供をお願いしたい。

- ・防災対応の経験があったとしても、地域ごとに気象特性が異なるため、社員は、地域気象特性について十分理解して、防災対応を実施する必要がある。また、昨今の異常気象について説明を受けることで、社員の知識向上にも繋がるため、勉強会などの開催があると非常に有用。
- ・昨年、地方気象台との連携に向けた連絡調整会議を実施したところだが、各地方気象台とNEXCO中日本(支社・事務所)との顔の見える関係構築に向けて、引き続き連携をお願いしたい。

災害時(発災前)

○大雨や大雪時には、国民の皆さまに出控えていただくために、危機感を引き続き伝えていただきたい。

災害時(発災後)

○地域レベルのきめ細やかな気象情報の提供を引き続きお願いしたい。

ご清聴ありがとうございました

